

## 平成22年度 八戸市立島守中学校 学校評価実施報告

### 1 学校評価の取組状況

- ・今年度の学校目標「失敗を恐れず、何度でも表現・実行できる生徒の育成」を重点目標に設定し、各教科の特性に応じた表現方法の実践を核に、校内外の諸行事、委員会・係活動等を通して、表現力の向上に取り組んだ。また、ジョイントスクール8Dプランのうち、「あいさつ、言葉づかい、家庭学習」を中学校区での重点目標に設定し、保護者や地域とともに取り組んだ。
- ・6月と11月に教職員による自己評価と生徒・保護者によるアンケートを実施した。
- ・1学期に実施したアンケート結果については、7月に行われた参観日に保護者に説明し、終業式に生徒に説明した。また、7月の学校便りに於いて地域にも公表した。
- ・2学期に実施したアンケート結果については、2学期終業式に生徒に説明し、1月に行われた参観日で保護者に説明した。また、12月の学校便りに於いて地域にも公表した。
- ・9月に地域学校連携協議会を立ち上げ、それ以後、委員の方々に学校行事の案内や学校便りを差し上げ、普段の教育活動の内容を見学していただくとともに、日頃の生徒の活動をお知らせした。
- ・1月に第3回地域学校連携協議会を開催し、2学期までの学校評価の説明・検討を行い、今後の学校運営のためのご意見を伺った。

### 2 児童生徒、保護者を対象としたアンケートの結果及び考察

- ・「表現すること」において、前もって準備ができていた発表や、自分の考えをまとめることに関しては、多くの生徒が自信を持てるようになってきている。しかし、そこから一歩踏み出して、自分がまとめた考えを堂々と発表することや、突然の指名による発表には、まだ自信が持てないようであった。
- ・音読週間、生徒朝会、コミュニケーションスキルの実施、南郷文化ホールでの総合学習の発表、文化祭でのステージ発表等、表現力の向上目指し、様々な取組を行った。その結果、生徒は失敗を恐れず、前向きに自己を表現しようとする意欲が出てきたことがアンケート結果からうかがえた。
- ・南郷文化ホールを使用している総合学習の発表については、保護者からも好評を得ており、時間と都合の許す限り、今後も続けていく予定である。
- ・8Dプランのうち、「あいさつ」に関しては、保護者、生徒ともに90パーセント以上が高い評価をしている。また、「家庭学習」に関しても同様の結果が出ている。今後も学校と保護者が連携し、良い結果が出るよう指導していきたい。
- ・8Dプランのうち、「言葉づかい」に関しては、やや低い結果が出た。教職員は90パーセント以上が高い評価をしている。生徒・保護者と教職員の評価が大きく異なった。生徒は時と場に応じた、良い意味での使い分けができていないのでは、という意見を地域学校連携協議会委員の方々にいただいた。

### 3 自己評価の結果及び考察

- ・各行事での意見・感想発表、授業での積極的な発表等、発表を中心とする表現力は向上してきていることが、教職員の自己評価からうかがえる。
- ・各教科の特性を生かした表現力の向上に取り組んだ結果が、表現力の向上につながっているものと思われる。
- ・8Dプランのうち、重点としている「あいさつ、言葉づかい、家庭学習」に関しては、すべての領域に於いて、90%以上が高い評価をしている。大変良い結果であるが、気を緩めることなく、今後も指導してまいりたい。

### 4 学校関係者評価の結果及び考察

- ・目標達成のため、校内研修等で計画的に取り組んでいること、発表方法に工夫を凝らしていることなどが認められ、良い評価をいただくとともに、今後も継続していくようご指導をいただいた。
- ・8Dプラン「あいさつ」に関しては、大人から話しかけることが必要で、その際、「あいさつ+」があると、よりあいさつの輪が広がるのではないかと。また、立ち止まっているあいさつは時と場を考える必要がある。校内では必要であるが、校外では不要であるという意見をいただいた。
- ・8Dプラン「言葉づかい」に関しては、家庭での言葉づかいと学校の言葉づかいに違いがあって当然である。良い意味での使い分けができていないのではないかと。また、生徒・保護者の評価が教職員に比べ、低い理由については、言葉の質が違うのではないかと。元気の声で「おはようございます」と言うのではなく、か細い声で「おはようございます」というから、保護者はあまり言葉遣いが良くないと考えているのではないかと。とにかく、大きな声で元気の良いあいさつ、そして、我々大人の方から声をかけ、見守っていくことが必要である、という意見をいただいた。
- ・8Dプラン「家庭学習」に関しては、親も子も7割以上が高い評価をしているということは、現状に甘んぜず、更なる向上を願っていることだと思う。島守中学校の生徒の学力は素晴らしい、先生方も自信を持って指導してくださっていることだと思う。双方向理想的な評価で、素晴らしい結果である、という意見をいただいた。

### 5 次年度の取組に向けての改善方針

- ・表現力の向上を目指し来年度は3年目になるが、次年度は「表現力」を構成する複合的な要素を各教科・領域で分析し、それぞれの立場から、様々な「表現力の基底となる力」を育ていく方針である。
- ・身につけるべき表現力が各学年の発達段階によって違ってくる。そこで、学年ごとの入力量（表現力の基底となる言語能力の育成）と、出力量（使いこなす訓練）の目標を設定する方針である。
- ・普段学級で立てられている、学習面や生活面の具体的な目標設定に加え、表現力に関する具体的な目標を生徒自身に設定させることにより、「自ら表現し、伝え合う」力の育成を目指す。